

平成30年度 業務棚卸評価シート

| | | | |
|----------|-----------------------------|--------|----------|
| No. | 4 | 担当部課名称 | 総務部行政総務課 |
| 事務事業名 | 行政不服審査会事務 | | |
| 見直しのタイトル | 審査会の円滑な運営に向けた規程及び事務処理要領等の整備 | | |
| 添付資料 有無 | 無 | | |

1 現状における課題

・平成28年に行政不服審査法が大幅に改正され、行政庁に不服を申し立てる手続の流れが変わった。これに伴い、新たに、付属機関として「行政不服審査会」を設置し、その事務局を担っている。

しかし、審査会運営に関する実務的なノウハウが整理されていない段階で、29年度に8件の審査請求が同時に提出されたため、必要な資料の作成や審査請求人からの聞き取り・調査、答申案の作成などを円滑に進めることができず、事務処理に想定外の時間を要した。また、現在のところは、参考となる事例も多くない状況である。

このような状況において、効率的かつ適正に手続を進めていくため、他市の状況を広く収集しながら、より具体的な手続のルール化を検討する必要がある。

2 業務改善の趣旨及び具体的内容

【趣旨】

これまでの審査請求に係る運営の振り返りを行うとともに、他市における審査請求事例や審査会の運営等を参考としつつ、具体的な事務処理の流れを検討する。

【具体的内容】

次の工程を踏まえ、年度内のルール化を目指す。

- ・これまで実施した審査会の運営について見直しを行い、課題や検討事項の洗い出しを行う。
- ・審理員を担う文書法務課と調整し、審査会への諮問に至るまでの事務及び流れ等を整理する。
- ・他市の審査請求に係る事例や運営の流れ、規程の整備状況等に関する情報をまとめる。
- ・洗い出した課題等に対する解決策を検討し、規程等の整備が必要な場合は例規等の手続を進めるとともに、職員間で業務の平準化が図られるよう、事務処理要領を作成する。

3 改善により期待できる効果

【全体】

- ・審査請求1件を処理するまでの業務時間の削減

4 実施スケジュール（概要）

6～10月

- ・これまで実施した審査会運営の見直し
- ・文書法務課との調整
- ・他市の審査請求に係る事例等の情報整理

11～3月

- ・洗い出した課題等に対する解決策の検討
- ・規程等の整備、事務処理要領の作成

5 実施結果の振り返り